

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 11 月 1 日(2022.11.1)

【公開番号】特開 2021-82926(P2021-82926A)
【公開日】令和 3 年 5 月 27 日(2021.5.27)
【年通号数】公開・登録公報 2021-024
【出願番号】特願 2019-208239(P2019-208239)
【国際特許分類】

H 0 4 W 8 / 2 4 (2 0 0 9 . 0 1)

10

H 0 4 W 7 2 / 0 4 (2 0 0 9 . 0 1)

H 0 4 W 8 4 / 1 2 (2 0 0 9 . 0 1)

【 F I 】

H 0 4 W 8 / 2 4

H 0 4 W 7 2 / 0 4 1 3 2

H 0 4 W 8 4 / 1 2

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 24 日(2022.10.24)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信装置であって、

IEEE 802.11 規格シリーズに準拠する無線フレームを通信の相手装置へ送信し
または前記相手装置から受信する通信手段を有し、

前記無線フレームを送信した装置がサポートしている周波数リソースの割り当て方式を
示す能力情報が前記無線フレームの MAC (媒体アクセス制御) フレームにおいて示され
ることを特徴とする通信装置。

30

【請求項 2】

前記相手装置から受信した前記無線フレームに含まれる当該相手装置の前記能力情報に
基づいて、前記相手装置へ送信する前記無線フレームに含める前記通信装置の前記能力情
報を決定することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記能力情報は、前記無線フレームを送信した装置が、データフレームの送信の度に周
波数リソースの割り当てが通知される方式をサポートしているか否かを示す情報を含むこ
とを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の通信装置。

40

【請求項 4】

前記能力情報は、前記無線フレームを送信した装置が、周波数リソースの割り当てが対
応する識別子と共に事前に通知され、データフレームの送信の際に対応する識別子によっ
て周波数リソースの割り当てが指定される方式をサポートしているか否かを示す情報を含
むことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記通信装置の前記能力情報と前記相手装置の前記能力情報とに基づいて、前記相手装
置との間でのデータフレームの送受信で使用する周波数リソースの割り当て方式を決定す
る決定手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の通信
装置。

50

【請求項 6】

前記決定手段は、前記通信装置と前記相手装置とが共に使用することができる周波数リソースの割り当て方式を、前記相手装置との間でのデータフレームの送受信で使用する周波数リソースの割り当て方式として決定することを特徴とする請求項 5 に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記決定手段は、並行して通信を行う前記相手装置の数にさらに基づいて、当該相手装置との間でのデータフレームの送受信で使用する周波数リソースの割り当て方式を決定することを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記決定手段は、前記相手装置との間で送受信されるデータを使用するアプリケーションの通信特性に基づいて、当該相手装置との間でのデータフレームの送受信で使用する周波数リソースの割り当て方式を決定することを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の通信装置。

【請求項 9】

Beacon フレーム、Probe Request フレーム、Probe Response フレーム、Association Request フレーム、Association Response フレーム、Reassociation Request フレーム、Reassociation Response フレームのいずれかにおける前記 MAC フレームにおいて、当該フレームを送信した装置の前記能力情報が示される、ことを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 10】

IEEE 802.11 規格シリーズに準拠する無線フレームを生成する生成手段を有し、
前記無線フレームを送信する装置がサポートしている周波数リソースの割り当て方式を示す能力情報が前記無線フレームの MAC (媒体アクセス制御) フレームにおいて示されることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 11】

通信装置によって実行される制御方法であって、
IEEE 802.11 規格シリーズに準拠する無線フレームを通信の相手装置へ送信しまたは前記相手装置から受信する通信工程を含み、
前記無線フレームを送信した装置がサポートしている周波数リソースの割り当て方式を示す能力情報が前記無線フレームの MAC (媒体アクセス制御) フレームにおいて示されることを特徴とする制御方法。

【請求項 12】

IEEE 802.11 規格シリーズに準拠する無線フレームを送信又は受信するための通信手段を有し、
前記通信手段によって送信または受信される無線フレームは、特定デバイスのための第 1 のリソースユニットの割り当てに関する情報と、当該特定デバイスのための、前記第 1 のリソースユニットとは異なる第 2 のリソースユニットの割当てに関する情報を少なくとも含むことを特徴とする通信装置。

【請求項 13】

前記第 1 のリソースユニットの割り当てに関する情報は、第 1 の割り当て方式の能力情報であり、前記第 2 のリソースユニットの割り当てに関する情報は、前記第 1 の割り当て方式とは異なる第 2 の割り当て方式の能力情報であることを特徴とする請求項 12 に記載の通信装置。

【請求項 14】

情報処理装置によって実行される制御方法であって、
IEEE 802.11 規格シリーズに準拠する無線フレームを生成する生成工程を含み、

10

20

30

40

50

前記無線フレームを送信する装置がサポートしている周波数リソースの割り当て方式を示す能力情報が前記無線フレームのMAC（媒体アクセス制御）フレームにおいて示されることを特徴とする制御方法。

【請求項 15】

コンピュータに、請求項 11 又は 14 に記載の制御方法を実行させるためのプログラム。

10

20

30

40

50